

幹事巻頭言

『覚悟を決める』



人材マネジメント部会 幹事 鬼澤慎人
(株式会社ヤマオコーポレーション代表取締役)

1年間、人材マネジメント部会にご参加いただき、ありがとうございました。今年度も振り返ればあっという間の1年でしたが、また最後にこのようなみなさんの思いのつまった論文集をまとめることができたことは、幹事としてもうれしいことです。

この1年は例年以上に激動の1年になりました。特に3月11日の東日本大震災とその後の中央（永田町・霞が関）の対応を見ていると、もはや機能不全としか思えない状態で、中央集権から地域主権へと本格的に舞台がいよいよゴロンと変わりつつある、まさに歴史の転換期にいると思っています。

ではその歴史的転換期にある今、地方自治体の人たちがどれだけそれを認識して、新しい未来を創るべく、自らが変わろうとしているのか、それも不安で仕方ありません。

この部会に4月の最初の回に参加されてくる方々は、自ら志願して参加してくる人よりも、上司から行けと言われて来た人たちが多いたことが事実です。それは見ていけばすぐにわかります。そんな状況の中、ベーシックコースでは1年の最後にはひとりでも多くの人が、「～しなければならぬ」という外発的な動機ではなく、「自分から～やりたい」という内発的な動機になってもらうようにと、幹事団は考えています。

変革は、仕事でするものではなく、自らの意志でするものだからです。
変革者（チェンジ・リーダー）は、役目ではなく、生き方だからです。

北川先生のおっしゃる「北京の蝶々」にひとりでも多くの人になってくれることが、みなさんの地域、そしてこの国の未来にどうしても必要なんです。

部会に1年間参加してみて、みなさんの覚悟はできたのでしょうか？

でも覚悟を決めて、一歩足を踏み出すと、思うようにならない、進まないことだらけに直面してしまうものです。

やっていることは正しいことなのに、わかってもらえない、聞いてもらえない、逆にこちらがさも悪いもののように言われることにも出会います。

ばかばかしくてやめたくなるし、自分の無力さを感じることもあります。

僕もそんなひとりでした。

でも考えてみれば、何かを変えるということは、そんなことに出会うのは当たり前のこと。障害や抵抗があるのが普通で、何の抵抗もなく進むことの方がおかしいわけです。

そんな風に自分で思えるようになり始めて来た時に、出会った言葉があります。人や言葉の出会いには不思議なもので、まさに「今の自分のためにある」と思えるものには出会うものだと感じるものがたくさんあります。

それを今年にはみなさんに紹介したいと思います。
尊敬するマザー・テレサの言葉です。

「裏切られても与え続ける愛」 (マザー・テレサ)

人は不合理、非論理、利己的です。
気にすることなく、人を愛しなさい。

あなたが善を行うと、
利己的な目的でそれをしたといわれるでしょう。
気にすることなく、善を行いなさい。

目的を達しようとするとき、
邪魔だてする人に出会うでしょう。
気にすることなく、やり遂げなさい。

善い行いをしても、
おそらく次の日には忘れられるでしょう。
気にすることなく、し続けなさい。

あなたの正直さと誠実さが、
あなたを傷つけるでしょう。
気にするとなく正直で、誠実であり続けなさい。

あなたが作り上げたものが、壊されるでしょう。
気にすることなく、作り続けなさい。

助けた相手から、恩知らずの仕打ちを受けるでしょう。
気にすることなく、助け続けなさい。

あなたの中の最良のものを、世に与えなさい。
けり返されるかもしれません。
でも気にすることなく、最良のものを与え続けなさい。

最期に振り返るとあなたはわかるはず。
結局はすべてあなたと内なる神との間のことなのです。
あなたと他の人の間であったことは、一度もなかったのです。

僕はキリスト教信者でもありませんが、この言葉からたくさんの勇気をいただきました。

「志と情熱」

あきめない心を持ち、本物の強さを身に付けていきたいですね。
未来を創るのは、僕たちひとりひとりです。

1年間、ありがとうございました。